

巻頭言

相手の要望に、的確に応えること

一般財団法人四国産業・技術振興センター

特別参与 尾田 牧弘

01

お知らせ

- 令和3年度産学共同研究開発助成事業のご案内
- 2021イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

02

事業活動の紹介

(1) 高機能素材産業支援事業 04

令和3年度高機能素材産業支援事業の概要

(2) 食産業の振興 06

令和3年度食産業支援事業の概要

(3) 技術開発支援 08

① 近未来情報化講演会

② 令和3年度事業化案件研究調査事業支援先決定

③ 令和2年度事業化案件研究調査事業の成果報告

(4) 販路開拓支援 12

令和3年度イノベーション四国ビジネスマッチング事業の概要

(5) その他活動 13

令和3年度定例理事会・定時評議員会開催

新賛助会員の紹介 15

一広(株)

賛助会員からのトピックス 16

井関農機(株)

(株)エヌビーエム

その他

18

STEPのひとりごと

編集後記

相手の要望に、的確に応えること

一般財団法人四国産業・技術振興センター
特別参与 尾田 牧弘



この3月末日をもってSTEPの専務理事を退任させていただきました。在任中に新年度の企業支援事業に必要な補助金を3件申請しておりましたが、いずれも採択の通知を受け、事業予算の工面については一応の目途がついた状況で後任の専務理事に引継ぐことができ、ほっとしているのが正直なところです。

冒頭からお金の話で恐縮です。私達も競争的資金獲得のため補助金の申請書等を書きますが、企業の皆さまも様々な補助金や顕彰事業への応募書類を書くことがあると思います。私はそれらの審査にも多く携わってきた経験上、審査の点数を上げるコツが少し解ってきました。それは「審査する側が求めている事項をしっかり書いているか!」ということです。勿論、その技術や新製品が良いものであることは言うまでもないのですが、中には、その技術のよさを伝えたいという思いが強すぎて、主催者側(=審査側)が知りたい事項について、残念ながら記載できてないことも多々あります。例えば「どのような工夫をしたか?」を記載してほしいのに、新技術の良さだけを書かれると点数が上がリません。主催者側が知りたいことは、応募要領や提案書様式に、それとなく記載されていることが多いので、まずはそれを熟読することが大切ですがよくわからない場合には、直接問い合わせても良いし、我々支援機関に相談するのもひとつの手だと思います。偉そうに書きましたが、私たち自身が申請する際に、審査側の要望に的確に応じられてないこともあるので、後輩たちには、このポイントをしっかり押さえ、今後もしっかりと競争的資金を確保して、充実した産業振興事業に繋げてほしいと願っています。

ここで、支援を受けられた企業の皆さまへのお願いがあります。冒頭に記しましたように、STEPや企業支援機関の多くは、国や県の資金を受けて企業支援を実施しています。その原資が税金である以上、成果を求められ、効果が薄いと判断されると打ち切られる恐れがあります。我々支援機関も自分たちの支援が企業さんの成果に結びついているか、アンテナを張ってはおりますが、個別に大きな支援をしたものの以外、なかなか情報が集まらないのが実情です。例えば、「あのセミナーであの技術者と話ができたことが、この新製品開発に繋がった」など、きっかけになったことでも立派な成果となります。開発を果たされた企業さんにおかれましては、少しでも役に立った支援がありましたら、その支援機関に連絡してあげて頂きたいと思います。また、新製品を発表する機会などありましたら、支援してもらったことを一筆添付頂くとありがたい。そのことが次の支援に繋がっていきます。是非とも、よろしくお願いいたします。

私、8月末日を持ちまして退職となります。十年ほど前から、自宅近くに20坪ほどの畑を借りて、野菜造りをやっています。これまでは、土日に集中して農作業をしていましたが、退職後は平日に畑をして、土日は体を休めるという日常がやって来そうです。コロナで行けてない旅行にも行きたいと思います。また、以前からの夢であった、「甲子園の年間予約席を買って、近くにボロアパートを借りて、試合のある日は球場に通う!」というゴールデンプランも、まだあきらめていないので、実現に向けて策を練りたいと思います。

最後になりましたが、お世話になりました四国地域イノベーション創出協議会の参加機関・ICの皆さま、四国経済産業局や各県の関係者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、四国のやる気のある元気な企業さまのイノベーション創出を祈念いたします。ありがとうございました。

◆お知らせ

7月30日締切

令和3年度産学共同研究開発助成事業のご案内

～企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います～

STEPは、イノベーション四国と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っておりますが、今回、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、下記のとおり5月6日(木)から7月30日(金)の間、助成対象事業の募集を行います。

今年度の助成金額は1件あたり50万円程度、6件程度の採択を予定しています。

◆「産学共同研究開発助成事業」募集概要

支援対象	四国内に本社または事業所を持つ中小企業
対象事業	企業が取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学・高専または公設試験研究機関等の研究者と共同で行う事業とします
支援対象経費 および助成金額	・当該事業の実施に直接必要な経費 ・1件あたり50万円程度を限度とします
研究期間	1年以内
募集期間	2021年5月6日(木)～7月30日(金) (7月30日STEP必着)
応募方法	STEPホームページに掲載しています http://www.tri-step.or.jp/innovation/develop.html
選考	審査委員会において、「技術面」、「事業化面」、「政策面」などについて、書類審査および必要に応じてヒアリングを行い評価した上で決定します。採択件数は6件程度を予定しています。
採否等の通知	応募者宛てに通知します
実績報告	事業完了後、実績報告書を当センターに提出していただきます
応募に関する お問い合わせ・ お申し込み先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 (一財)四国産業・技術振興センター 産業振興部 田中、井上 TEL 087-851-7081 FAX 087-851-7027 E-mail step@tri-step.or.jp URL http://www.tri-step.or.jp/

2021 イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

第26回四国産業技術大賞

■四国産業技術大賞

●公募期間 9月1日（水）～10月31日（日）

（表彰区分）

①産業技術大賞 ②革新技術賞 ③技術功績賞

四国地域の産業技術の発展に顕著な功績があった企業等を表彰することにより、企業等の士気高揚を図り、四国地域の産業技術の高度化に資することを目的とします。

＜昨年度の受賞企業＞ 2020イノベーション四国顕彰事業表彰 第25回 四国産業技術大賞

受賞種別	受賞者名 (所在地)	受賞概要	推薦者
産業技術大賞	株式会社 愛研化工機 (愛媛県松山市)	EGSB方式を用いた完全自立循環型排水装置による地域での水・エネルギー課題解決	中小企業 基盤整備機構

★技術開発成果が優秀で、革新性の高いもの

最優秀革新技術賞	株式会社 高知丸高 (高知県高知市)	工期・工費の削減を可能にするロングスパン 長尺橋梁の開発	高知県発明協会
優秀革新技術賞	株式会社 オサシ・テクノス (高知県高知市)	地面の傾斜を常時遠隔監視し、音と光で警報発令 を行う傾斜監視システムの開発	高知県 工業技術センター

★技術開発成果が優秀で、他への波及効果や、社会的課題解決への寄与が期待できるもの

最優秀技術功績賞	日泉化学株式会社 (愛媛県新居浜市)	車両向け駆動部補助部品「CVT溶着技術を用いた樹脂化オイル潤滑パイプ」の開発	愛媛県 産業技術研究所
優秀技術功績賞	株式会社 シケン (徳島県小松島市)	エアブラスト自動研磨装置の開発による 歯科技工物の革新的生産プロセスの構築	徳島県立 工業技術センター

奨励賞	大塚テクノ株式会社 (徳島県鳴門市)	プラスチック製品を圧倒的に黒くする成形の 新技術『反射防止構造体』の開発	—
	株式会社 ディースピリット (愛媛県松山市)	果物の収穫・選別を自動で行う、カメラと物体認識 AIを活用した自律型アームロボットの開発	愛媛県 中小企業家同友会
	株式会社 マルヤス (愛媛県新居浜市)	ロスフィルムを原料に変えるペレット再生装置の開発	—

1 高機能素材産業支援事業

令和3年度 高機能素材産業支援事業の概要

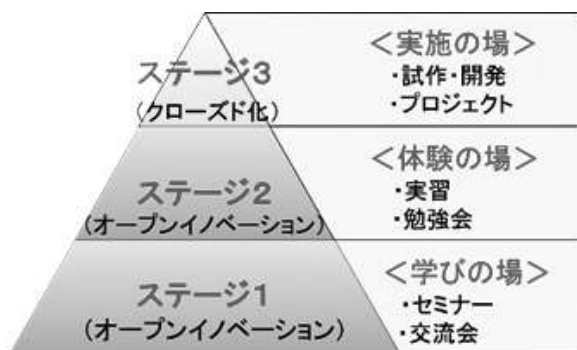
高機能素材産業支援プロジェクトでは、四国の特長を活かせるセルロースナノファイバー（CNF）、炭素繊維等の利活用に向けた事業や、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた事業を支援しています。

令和3年度の事業実施にあたっては、四国経済産業局の令和3年度「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域産業デジタル化支援事業)」を活用させていただき、STEPが従来から取り組んでいる、紙や炭素繊維関連の「ものづくり企業群」が取り組む「CNF、炭素繊維等の優れた技術を活かし自社製品の高付加価値化に取り組む事業の支援」に加えて、これらの業界で「デジタル化ビジネスモデルを適用することで効果的に開発・普及展開を促進する事業」を行うこととしています。

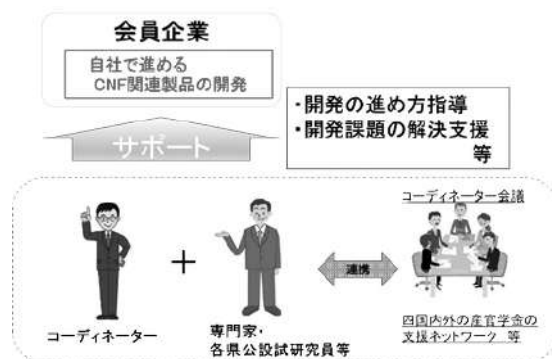
○CNF、炭素繊維等の優れた技術を活かし自社製品の高付加価値化に取り組む事業の支援

企業訪問、セミナー開催等による取組企業の発掘や、製品開発案件に対するコーディネーター、専門家の技術指導等による製品化支援、また、展示会出展・マッチングによる販路開拓支援などを実施し、支援先企業の「新しい事業の柱」に育てる計画です。

事業名	概要
四国CNFプラットフォーム事業	・CNF利活用企業等によるCNF利活用事例等の情報提供セミナー、CNFに触れてもらい活用のコツをつかみとる体験セミナー等 ・CNF利活用製品の開発に取り組む企業に、専門家が訪問し、課題解決に向けた支援を行うことで製品化につなげる支援
炭素繊維素材等に関する事業	・炭素繊維素材等活用事業に関心を持つ企業を対象とした、事業展開にあたり必要となる市場動向・加工技術等のセミナー等 ・高機能素材の専門家等が企業を訪問し、開発における課題解決に向けた支援を行うことでプロジェクトを成功に導く支援
海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた事業	・官庁、研究者、企業等による政策動向や研究・製品開発動向等に関する情報提供セミナー等
新機能性材料展への出展	・高機能素材活用事業の内容や四国の各企業の取り組みのPRと、出展企業の販路開拓による事業化促進



四国CNFプラットフォームの事業構成

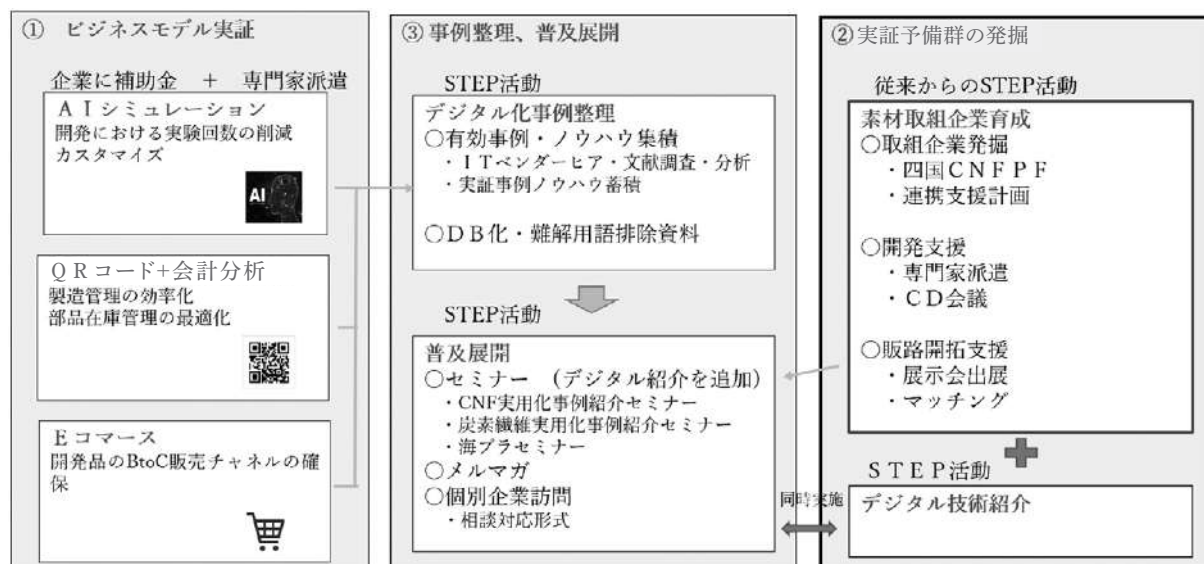


製品開発の支援体制

○デジタル化ビジネスモデルを適用することで効果的に開発・普及展開を促進する事業

具体的に3例のデジタル化ビジネスモデルを実証するとともに、セミナーや企業訪問で、効果的なビジネスモデルや導入ノウハウを紹介する等で、これらの業界にデジタル化ビジネスモデルが導入され、高機能素材の開発・普及展開が効果的にできることを目指しております。

事業名	概要
デジタル化ビジネスモデル実証	①AIシミュレーションを活用し、素材の開発スピードアップ・製品の差別化を図るモデル ②QRコードと会計分析を活用し、部品の在庫管理の労力を生産力増強に振り向けるモデル ③eコマースを活用し、開発品をBtoCで販売するモデル の実証企業3社に補助金を出すとともに、専門家の知見・人脈を活用した技術指導等により支援
ビジネスモデル予備軍の発掘	高機能素材を活用して自社製品の高付加価値化に取り組む企業等に、デジタル技術等を紹介することで、新たにデジタル化ビジネスモデルに取り組む企業を発掘する。
事例整理・普及展開	ビジネスモデル実証のノウハウ等を整理するとともに、企業訪問やセミナー等でデジタル化ビジネスモデルの事例紹介等を行い、これらの業界に普及展開を図る。



(デジタル化普及展開に向けた取組みイメージ)

2 食産業の振興

令和3年度 食産業支援事業の概要

食産業支援事業については、需要が堅調に推移している食品市場をターゲットに、四国の特徴を活かした新たな機能性食品の創出を促し、その販路開拓を強力に支援します。

◆事業概要

事業目的	四国の特徴を活かした新たな機能性食品の創出を促し、その販路開拓の支援を行うことにより、食産業の振興を図ります。
事業イメージ	○四国内の食品素材、加工メーカーを中心に、新たな四国産の機能性食品の開発支援及び販路開拓支援 ○中小企業にも活用可能な低コスト・短期間で食品機能性を表示できる四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）の普及拡大

◆デジタル化支援事業

令和3年度においては、四国経済産業局の令和3年度「地域産業デジタル化支援事業」を活用し、BtoBマーケティング戦略に基づいたマッチングサイト構築や商品プレゼン動画作成支援を実施し、販路開拓を行うとともに、食品企業における商品開発や量産化、販路開拓など新事業創出のあらゆる場面でのデジタル技術活用の取り組み発掘のためのセミナー開催、企業訪問を行う計画です。

事業名	概要
四国における機能性食品創出のデジタルマッチング支援事業 （令和3年度「地域産業デジタル化支援事業」）	○ビジネスモデル実証支援 ・マッチングサイト構築 ・マーケティング戦略に沿った会社・商品のプレゼン動画作成 ・展示会出展、商談支援 ○ビジネスモデル実証予備群の発掘 ・デジタル技術活用関連セミナー開催 （多様なデジタル技術を活用したビジネスモデルを紹介） ・個別企業訪問（専門家派遣） ・新商品開発支援 ○事例整理、普及展開 ・デジタル技術活用事例紹介セミナー開催 （本事業の取り組み状況の紹介による後続企業発掘） ・マッチングサイトPR活動 ・個別企業訪問（専門家派遣） など

◆四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）及び四国健康支援食品普及促進協議会活動

四国における機能性食品創出に向けた取り組みとして実施している四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）について、各種展示会・セミナーにおいて紹介し、認知度向上の取り組みを行うとともに、四国内食品関係企業を中心に首都圏等での展示会出展支援を行い、販路開拓に係る活動を行います。

事業名	概要
四国健康支援食品制度の運用	・関係機関が主催する各種セミナー、展示会等でのPR活動 ・ヘルシー・フォービジネスマッチングの開催 ・四国食品素材論文ライブラリーの内容充実 など
四国健康支援食品普及促進協議会活動	・協議会会員への食品機能性に関する各種情報提供（雑誌、新聞、中央省庁ホームページなど） ・機能性食品に関する各種展示会出展等による販路開拓支援 ・製品開発・販路開拓に関するサポート（個別対応） など

3 技術開発支援

① 近未来情報化講演会

当センターでは、かがわ情報化推進協議会主催の情報化セミナー「近未来情報化講演会」を共同開催いたしました。

本講演会は、当初、現地会場とライブ配信による講演を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当日は、YouTube liveによるライブ配信のみとなりました。

本講演会では、

- ・平成は日本経済没落の時代
- ・平成から令和、ポストコロナ時代のキーワード
- ・AI（人工知能）をはじめとする先進的な技術の発展、いわゆる新産業革命（デジタル・イノベーション）による社会への多大なインパクト
- ・変革の激しい時代を勝ち抜くためのヒント
- ・価値観の変化や日本企業の国際競争力の現状と可能性

などを考察し、過去の延長線上にはない未来社会を描き、これからの日本の経営者やリーダーに求められる資質と期待を共有することができました。

また、本講演会は、120名の方にライブ配信を視聴いただき盛況のうちに終了いたしました。

【開催日】 令和3年6月3日（木） 14:00～15:40

【現地会場】 サンポート高松 情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）BBスクエア

当日は、以下のライブ配信のみの運用となりました。

【ライブ配信】 YouTube liveによるライブ配信

【プログラム】 【基調講演】

●新産業革命の時代におけるリーダーシップ

～ポストコロナ時代のキーワードとこれからの時代に求められる人材～

日本アイ・ビー・エム株式会社 名誉相談役 橋本 孝之 氏

②令和3年度の事業化案件研究調査事業支援先が決定しました

当センターでは、四国地域イノベーション創出協議会と連携し、事業化を目指す四国の中小企業様の技術開発・製品開発について令和3年度の支援対象事業の公募を行った結果、13件の応募がありました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が産業界に及んでいる中、より多くの中小企業様を支援するため今年度も昨年同様、採択件数は4件とし、厳正な審査を経て13件の応募の中から下記の4件を支援先として決定いたしました。助成金額はいずれも100万円です。

当センターならびに四国地域イノベーション創出協議会は、技術開発・研究開発の支援に加え、開発終了後も成果の事業化や販路開拓等について引き続きフォローアップを行うこととしています。

◆令和3年度事業の支援先

企業名	研究開発テーマ、概要
合同会社 アーク (香川県三豊市)	「高感度呼吸センサによる新型コロナワクチン接種後の見守りシステムの開発」 【概要】2月17日から新型コロナワクチン接種が医療関係者から始まっている。外国での副反応(アナフィラキシー症状)の発生は100万人におよそ5例であったが日本ではすでに6000人に1人と報告があった。そのため確実に副反応(アナフィラキシー症状)を早期に発見し対応する必要がある。今後高齢者、基礎疾患を有する人、高齢者施設従事者と順次ワクチン接種が行われるがアナフィラキシー症状を確実に検出するセンサ技術の開発が望まれる。我々は特許を取得した高感度呼吸センサを用い新型コロナワクチン接種後の経過観察時に起こる副反応(アナフィラキシー症状)早期検知システムを開発し実証実験を行う。
イトマン株式会社 (愛媛県四国中央市)	「医療・介護現場における感染制御及び負担軽減のための紙製ディスポーザブル容器の開発及び事業化」 【概要】感染症の脅威は増々大きくなり、色々な対策が継続して行われる状況の中、感染症対策に重要な医療介護用「リユース容器」が「使い捨て(ディスポーザブル)容器」に置き替わる市場を目標に、現在「便器」「尿器」「吐瀉物用容器」「胎盤トレイ」4品目の商品化を目指している。これらの事業化に向け、三菱京都病院などと協力して現場ニーズに合った商品開発、市場動向調査を行う。これらを基に効果的な知財申請を行う。
株式会社コスモ工房 (高知県高知市)	「新しい意匠性を有する竹集成材とその製造方法の開発」 【概要】高知県産竹材の利用拡大を目指し、新しい意匠性を持つ竹集成材の製造方法を確立する。当社で製造する竹集成材は、竹ラミナの繊維方向が一定になるラミナ配置により接着されており、意匠性のバリエーションは限られている。本研究では、竹集成材における竹ラミナ配置に変化を持たせ、加工後に現れる「木目」の種類を増やすことにより竹集成材の用途拡大を図る。
スバル株式会社 (愛媛県四国中央市)	「環境にやさしいパラミロン粒子抽出技術の開発」 【概要】有望な新機能性素材であるパラミロン／ナノファイバーは、藻類のユーグレナから抽出して取り出す、一般的なアルカリを用いる方法は、処理時間が長いことに加えて栄養豊富な残存液が強アルカリにより2次利用が困難になる。今回開発する添加物質を用いないマイクロバブル発生等の流体制御技術を用いたパラミロン抽出方法では、処理時間と処理コストを劇的に削減でき、栄養豊富な残存液を他の用途に有効に活用することが可能となる。



競輪の補助事業

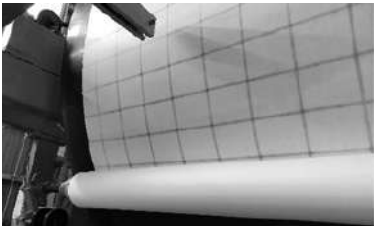
この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

<https://www.jka-cycle.jp/>

③令和2年度事業化案件研究調査事業の成果報告

令和2年度の事業化案件研究調査事業で採択決定しました4社のうち本号では、内外典具帖紙株式会社(いの町)、廣瀬製紙株式会社(土佐市)の成果を報告いたします。

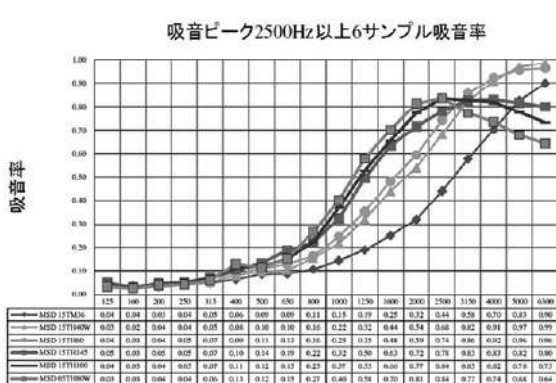
◆内外典具帖紙株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	様々な規格の四方耳付き和紙の生産性向上のための研究開発
実施期間	令和2年6月～令和3年2月
企業名	内外典具帖紙株式会社
研究調査概要	短網式抄紙機で和紙を製造していく中、大量生産が難しいとされていた長繊維からなる四方耳付き和紙の連続生産に取り組んできた。その中で、四方耳付き和紙を使ったラベルシールの需要が多くあることが分かった。そこで、四方耳付き和紙の連続生産技術を改善し、更に完成度を上げ、多種類の規格や用途に対応できる様に研究する。
研究調査成果	漉き上がった和紙原紙の寸法精度を高める抄紙技術の開発を行った。抄き網に設置する不透水性材料の形状や寸法(幅・長さ)等を目標の規格サイズに近づけるために、測長器を使用し、漉き上がった全ての和紙のサイズが規格通りに均等になるよう不透水性材料の設置時の改良に取り組んだ。  写真① 全てのサイズが均等になるように漉いている風景  写真② 粘着加工&スリット加工  写真③ ロール状印刷・スリット加工  更に漉き上がった和紙に粘着加工と、ロール状での大量印刷とハーフカット加工が出来るように改良を行い、他の和紙製品や商品よりも安価になるように目指した。 現在、出来る範囲での商品販売や販路開拓へ力を入れるとともに、シールタイプやシール無しタイプのラベル用和紙や表彰状、ハガキ等の様々な商品展開での新しい用途や販路の可能性を追求している。

【本研究内容に関する問合せ先】
 高知県 吾川郡いの町加田1246-1
 内外典具帖紙株式会社
 (URL:<http://www.naiten.com/>)

担当:代表取締役社長 土居 晶子
 TEL:088-892-1088
 E-mail:naigaitengu@kzd.biglobe.ne.jp

◆廣瀬製紙株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	吸音性能向上不織布のニーズ調査
実施期間	令和2年6月～令和3年2月
企業名	廣瀬製紙株式会社
研究調査概要	湿式不織布と多孔質吸音材を組み合わせる事で、高い吸音性能を発揮する事が分かっている。複合吸音材を使用するメリットとして、省スペース性能と高い吸音性能、吸音したい周波数のコントロールが可能である点が上げられるが、アプリケーション毎に要求物性が異なるため、ニーズに沿った提案が必要不可欠である。また、湿紙不織布と相性の良い多孔質吸音材の選定も非常に重要であり、世の中のニーズを調査した。
研究調査成果	多孔質吸音材は、コストの安い繊維系（グラスウールや乾式不織布）とコストが高い発泡系（ウレタンフォームなど）に分けられる。前者は薄い状態でも高い吸音性能を有するため、自動車・建築用途などで多く使用されている。一方でマイクロ繊維の脱落が課題であり、精密機器や人が触れる用途では敬遠されてきた。後者は繊維の脱落が無くクリーンだが、薄い状態では吸音性能が低く、高い吸音性能を出すには厚みが必要で搭載性に難がある事が分かった。用途調査とマーケティングを行うことで、既存の材料の強みを活かしつつ、湿式不織布の強みを活かせる発泡ウレタンメーカーとの協業関係になることに成功した。その後、データ取得やサンプル作製を行い、展示会へ出展し約10社のメーカーに興味を持っていただくことに成功した。自動車・建築・音響設備・家電メーカーからの引き合いがあり、これまで吸音材を使用できなかった用途への展開の可能性を見出した。  図1.作成した吸音材  図2.展示会出展時の写真  図3.吸音率データ

【本研究内容に関する問合せ先】

高知県土佐市高岡町丙529番地イ

廣瀬製紙株式会社

(URL: <https://www.hirose-paper-mfg.co.jp/>)

担当:技術開発グループ 坂本 成隆

TEL:088-852-1151

E-mail:m-sakamoto@hirose-paper-mfg.co.jp



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>

4 販路開拓支援

令和3年度 イノベーション四国ビジネスマッチング事業の概要

イノベーション四国では、平成27年度から四国4県の企業の特徴ある技術を都市圏の大企業等にPRする「イノベーション四国ビジネスマッチング」に取り組んでいます。この中で、特にニーズの高い「販路開拓」を支援の中心に置き、企業が自社の強みや技術の独自性を確認する機会、新たな課題やニーズを発見する機会等を作っています。

昨年度におきましては、右表の9社に対して、イノベーション四国会員機関、イノベーションコーディネーター（IC）、他地域支援機関等による伴走支援のもと、より高い成果が得られるよう、事前に各社自身が自社の強みを確認し、売込み戦略の策定やPR手法のブラッシュアップなど綿密な事前準備をしたうえで、個別商談（個別マッチング）等を実施しました。併せて、前年度実施企業に対しては、フォローアップを行い、商談成立に向けて積極的に支援しました。

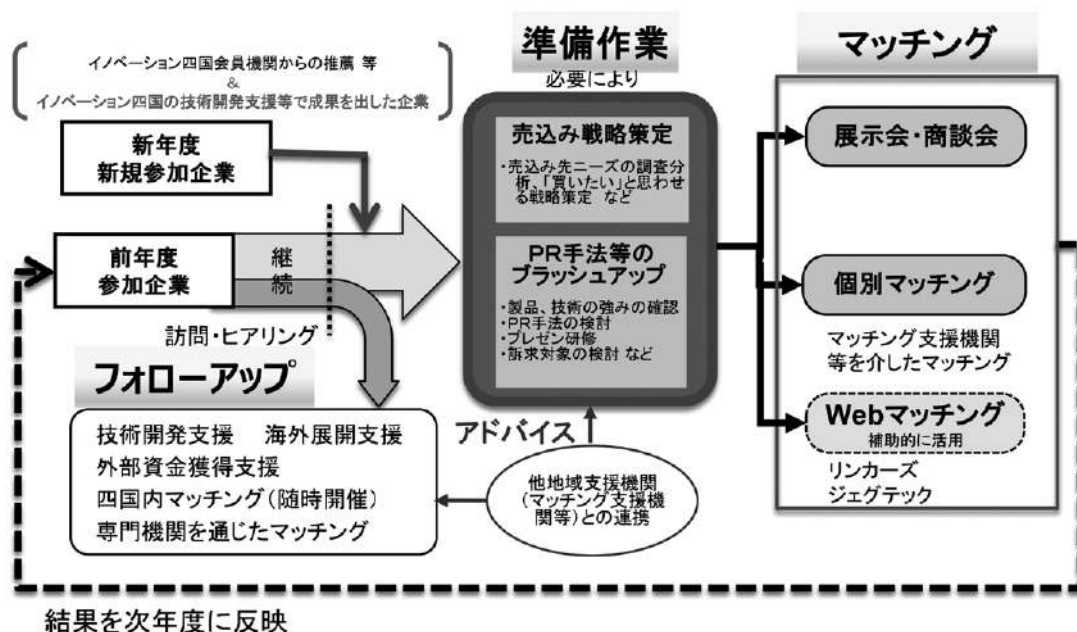
その結果、数社の商談が成立しました。マッチング終了後は、各社の事情に応じた適切なフォローアップを行い、継続的に支援する体制を構築しています。

今年度は、過去にイノベーション四国の支援を受けて新製品開発に至った企業などからの「販路開拓についても支援して欲しい」との多くの要望に応え、これらの企業を選定候補に加え、重点的に支援していく予定です。

また、マッチングの成果をより上げるため、関係機関等との連携を一層強化し、より精度の高い面談につなげて行けるよう取り組んでいく予定です。

◆令和2年度 マッチング支援企業（実績）

県別	企業名	本社所在地等
徳島	朝日音響(株)	上板町
	中道鉄工(株)	徳島市
高知	高知機型工業(株)	香南市
	兼松エンジニアリング(株)	高知市
愛媛	(株)シーライブ	新居浜市
香川	(株)パル技研	高松市
	(株)今井鉄工所	坂出市
	(有)山本縫製工場	坂出市
	(株)ハガタ屋	東かがわ市



5 その他活動

令和3年度定例理事会・定時評議員会開催

当センターは、令和3年度の定例理事会、定時評議員会を開催しました。

定例理事会は5月26日、東急REIホテルにおいて、理事総数13名中12名の出席（うちWEBでの参加6名）および監事2名の出席により開催し、令和2年度の事業報告、決算および公益目的支出計画実施報告書について承認しました。このほか、JKA補助事業の実施、定時評議員会の招集について承認しました。

定時評議員会は6月15日、東急REIホテルにおいて、評議員総数14名中13名（うちWEBでの参加5名）の出席および理事2名の出席により開催し、令和2年度決算等の承認のほか、評議員3名の選任を決議しました。

令和3年度 定例理事会

1. 日 時：令和3年5月26日（水）13時30分～14時10分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：理事12名、監事2名
4. 議 事：第1号議案 令和2年度事業報告について
 第2号議案 令和2年度決算の承認について
 第3号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
 第4号議案 令和3年度（公財）JKA補助事業の実施について
 第5号議案 定時評議員会の招集について



令和3年度 定時評議員会

1. 日 時：令和3年6月15日（火）13時30分～14時30分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：評議員13名、理事2名
4. 議 事：第1号議案 令和2年度事業報告について
 第2号議案 令和2年度決算の承認について
 第3号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
 第4号議案 令和3年度（公財）JKA補助事業の実施について
 第5号議案 評議員の選任について



承認された令和2年度決算

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：百万円）

	令和2年度	令和元年度	増 減
資 産	569	574	△4
負 債	13	18	△4
正味財産	556	555	0

損益計算書（正味財産増減計算書）

（単位：百万円）

	令和2年度	令和元年度
収 益	116	146
費 用	115	146
正味財産増減額	0	△0

（注）金額は、百万円未満切捨てで表示している。

新評議員

四国経済連合会 常務理事

四電工 取締役社長

四電技術コンサルタント 代表取締役社長

柏原 良教 氏

関谷 幸男 氏

野村 喜久 氏

新賛助会員の紹介

一広株式会社／タオル美術館グループ

設立：1974年1月

資本金：8,000万円

代表者：代表取締役会長 越智逸宏
代表取締役社長 越智康行

本社：愛媛県今治市八町西4丁目1番6号

従業員数：220名

事業内容：タオル・マスク製造企画販売業

企業PR：私たちは「常に人々の心の豊かさと生活文化の向上に貢献する」という経営理念のもと、商品を通じて生活の豊かさと社会に貢献できる企業を目指しています。五ツ星クオリティをはじめとした品質へのこだわりや、ハイドロ銀チタンを用いた高機能技術の開発など、タオルやマスクなど生活必需品を通して新しいライフスタイルをご提案いたします。

令和2年には製造から卸・小売りまでの一貫体制をより強化し、お客様に期待を超えるサービスを、圧倒的な品質を誇る商品を、まだ触れたことない感動をお届けするためにこれからも努めてまいります。



賛助会員入会のご案内

年会費 1口 3万円／年（何口でも結構です）

お問い合わせ先 STEP総務企画部までお問い合わせください。

TEL 087-851-7025 FAX 087-851-7027 E-mail step@tri-step.or.jp

STEPは、昭和59年に四国地域の技術振興を図り、地域経済の発展に貢献することを目的に、民間有志の方々により設立された広域（四国地域全体）の産業支援機関です。

平成20年には、近年の企業活動の高度化・グローバル化に対応するため、四国内の研究機関や産業支援機関などに働きかけ、「四国地域イノベーション創出協議会（イノベーション四国）」を設立し、当センターを始め会員機関など四国の総力を挙げて企業の皆さまが抱える課題全般を解決支援しております。

これらの活動を発展させ、永続的なものとするためには、企業の皆さまからの要請と支持が不可欠であり、財源については、当センターの賛助会費等を充てておりますが、これについても皆さまのご理解とご協力が不可欠です。

つきましては、当センターの良き理解者、支持者として賛助会員に入会され、四国の経済発展に貢献して頂きますよう、何卒よろしくお願いいたします。

賛助会員からのトピックス

平素より賛助会員のみならず方には、当センターの活動をご支援いただき厚く御礼申し上げます。このコーナーでは、それぞれの事業分野で、特徴のある活動を展開しております賛助会員からの話題性に富んだ情報をご紹介します。

井関農機株式会社（愛媛県松山市）

私たちの原点“農家を過酷な労働から解放したい”という熱い想い ～「食と農と大地」のソリューションカンパニー～

《事業概要》

弊社は、1926年に愛媛・松山で創業した農業機械総合専門メーカーで、国内外向けの稲作や野菜作等に関する農業機械や景観整備用機械の開発、製造、販売・サービスを行っています。創業者 井関邦三郎は、手作業や畜力を用いた過酷な農作業を機械化によって省力化し、農業の発展と近代化に貢献してきました。「ええもんをつくるんやぞ」と、お客様に喜ばれる商品を提供することにこだわり続けた創業者の想いは、井関の精神として連綿と受け継がれており、フロントランナーとして画期的な商品を数多く生み出してきました。現在は、日本農業の抱える課題に対応すべく、先端技術を活用したロボット農機やデータを活用したスマート農業に注力しています。海外においては、国内で培った技術や高い品質で欧州・北米市場への展開、農業の機械化が加速しているアジアへと、ビジネスの場を拡大させています。

《井関グループの強み》

井関グループの強みは、「技術力」「営農提案・サポート力」「連携によるイノベーション」です。愛媛県伊予郡砥部町にある研究開発拠点では、お客様のニーズや課題を解決するための商品開発や先行研究に取り組んでいます。弊社の日本における特許分野別登録数や高い特許査定率、発明表彰受賞件数は、新技術の開発、投入、実用化に積極的に取り組んできた証しだと自負しています。



研究開発拠点の砥部事業所（伊予郡砥部町）

分野別登録数					
年	2020～2024	2007～2014	2016～2017	2018	2019
分野	農水産	その他の特許機械			
順位		1位		2位	1位
特許査定率					
年	2004～2010	2011	2012～2017	2018	2019
特許査定率	83.7～91.8%	91.8%	94.7～100%	96.0%	97.7%
順位	1位	2位	1位	2位	1位

また、試験研究機関や大学などと連携し、共同開発によって技術開発の迅速化と効率化を図っています。愛媛大学様とは、情報通信技術（ICT）、人工知能（AI）、ロボット化技術を統合した最先端の栽培技術により、農作物の生産性を高めるスマート農業の共同研究などを行っています。営農提案・サポートにおいては、国や自治体と連携しながら農業現場へのスマート技術や低コスト省力技術の

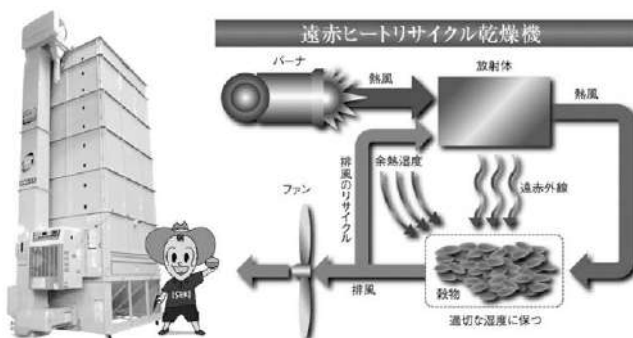
普及拡大に注力しています。井関グループの強みで農業の新たな価値を創造し、持続的な農業の発展に貢献していきます。

《最近のトピックス》

一弊社技術が全国発明表彰の「発明賞」を受賞—

公益社団法人発明協会主催の2021年度全国発明表彰において、弊社の穀粒乾燥機のヒートリサイクル制御が「発明賞」を受賞しました。

従来は、穀物乾燥の排風に塵埃や湿気が多量に含まれていたため、機外に排出していました。排風の絶対湿度を監視する当技術の発明により、再利用することが可能となり、省エネ性の向上（弊社熱風乾燥機と比べて灯油消費量を最大13%削減）と高速乾燥（乾燥速度最大1.2%/時間を実現）の両立を実現しました。



「ヒートリサイクル制御を採用した乾燥機GMLシリーズ（H型）」

《今後の展望》

コロナ禍において、食や農業とそれを支える農業機械は人々の暮らしに欠かせないエッセンシャルなものだと再認識されました。食料の安定供給に向けた生産基盤の強化や食料自給率向上、住環境保全による住みよいまちづくりなど、井関グループの社会的使命はますます高まっていると考えています。井関グループは、「食と農と大地」のソリューションカンパニーとして、「食」「農」「大地」をはじめてとする社会課題の解決を通じて、豊かな社会の実現に貢献していきます。

《会社概要》

会社名：井関農機株式会社
代表者：代表取締役 社長執行役員 富安 司郎
創立：1926年（大正15年）8月
資本金：233億4,474万円
本社：〒799-2692 愛媛県松山市馬木町700番地
従業員数：（連結）5,510名
（単体）738名（2020年12月31日現在）

株式会社エヌビーエム（香川県綾歌郡宇多津町）

「きれいがあたりまえの世界を」
人とまちを笑顔にする 創造企業

《私たちの経営理念》

よりよい生活空間を美創する

三つの目的

- 一、社員とその家族の物心両面における幸せを実現する
- 一、丁寧で心あたまるサービスの実現を通じて
お客様へ「感動!」を提供する
- 一、末永く地域社会から愛され信頼される
「よい人、よい会社」を創る

《事業内容》

弊社は、1997年7月に設立された”総合ビルメンテナンス事業”を行う会社です。その事業内容は、清掃管理・施設保守管理・環境改善及び保全に関する調査及びコンサルティング業務、また環境改善に関わる洗浄剤・抗菌剤・消臭剤・コーティング剤等の研究開発、企画・販売などを行っています。お客様の住環境や職場環境を美しく整えるのはもちろんのこと、ただ美しさを装う「美装」ではなく、真に美しい空間を創造する「美創」企業として、より快適な住空間の創造を目指しています。

また2018年には東京都稲城市に研究開発・製造部門を担当する株式会社エアラボを設立し、より環境衛生分野へと特化したお客様ニーズにも柔軟に対応する体制を整えました。さらに2019年には全国のカビ被害に特化した国内唯一の専門機関、日本カビ対策プロジェクトを発足、全国対応を可能とするためのパートナー制度を整備し、現在では全国のカビ被害に悩むお客様の問題解決のサポートも行っております。

《会社概要》

会 社 名：株式会社エヌビーエム
代 表 者：代表取締役 多田 雅彦（ただ まさひこ）
設 立：1997年7月25日
資 本 金：1,000万円
本 社：香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁78-2
T E L：0877-49-7107
U R L：<http://www.nbm-ecoservice.com/>



2016年 四国でいちばん大切にしたい会社大賞「奨励賞」受賞風景

《最近のトピックス》

日本カビ対策プロジェクト（JMCP）は、建物に発生したカビを除去（コントロール）するスペシャリスト集団。現状発生しているカビを除去できるのはもちろんのこと、カビ抑制剤などを用いカビの再発を大幅に遅延させたり、定期的な診断・処理を施すことで年間を通じカビの発生を抑え込むことも可能です。



《新製品情報》

華美技（KABIWAZA）は、広く一般消費者向けに開発されたカビ除去剤です。高い水溶性と表面張力による内部浸透性を有し、効率的に躯体内部のカビに働きかけ細胞壁を破り核まで分解します。またカビ除去剤特有の塩素臭や刺激性も大幅に低減されているため、今までのカビ除去剤に比べ、使用者負担を著しく軽減することに成功しました。



《今後の展望》

当社はこれまでの社歴の中で培ってきたビルメンテナンス業務の技術に加え、サニテーション業務で培った衛生管理のノウハウを持っております。また、自社独自の除菌剤や洗浄剤などを開発する能力もあり、環境衛生に関わる商品・サービスも開発が可能です。今後は衛生管理のプロフェッショナル集団としての知識・ノウハウを活かし、ビルメンテナンス業界のみならず、広く社会一般へ向けた感染症対策に関するコンサルタント業務、HACCP制度導入に伴うサニタリーアドバイザー業務など、より専門性に特化した新しい市場を創造していきたいと考えております。

また、地域密着型企業として地元香川の活性化に寄与するのはもちろんのこと、日本全国を「笑顔」にできる企業を目指していきます。

3 × 365 > 1000

現在、3回目の単身赴任をしています。

単身赴任というと、「自由でいいですね。」とか「食事はどうされていますか。」とか鉄板ネタで話をされてきます。確かに「自由」ですが、それと引き換えに全てのことについて「決定」と「責任」が付きまといますので、「従属」のほうが楽なこともあるのかな、と感じています。

「食事」については、自信をもって「自炊」です。単身赴任の人にはいろいろ聞くと、最終的には完全外食派と完全自炊派に分かれるようです。私の場合は、自分の好みの味のものを食べるには自分で作るしかない、というところに行き着き、結果的に自炊派になりました。まあ、やってみると案外できるものです。ただし、他人さまにとってどうか、ということについては言わぬが花ですが。

ところで、じゅげむじゅげむ・・・という呪文のような言葉をご存じでしょうか。全部は知らなくても、聞いたことがあるという方が多いのではないかと、思います。これは、早口言葉や言葉遊びとして知られていますが、本来は古典的な落語の前座噺（ぜんざばなし）の一つで、生まれた子供に名前を付けるにあたり、いつまでも元気で長生きできるようにと、紹介された沢山の縁起の良い言葉を、どれにするか迷った末に全部並べて付けてしまった、という笑い話です。

その中に、「喰う寝る処に住む処」というくだり（漢字だと、「行」と書くのだそうです）があります。子供がこれらに困らずに生きていける事を祈ったもので、つまり、これらはとても大事ななくてはならないもの、ということになります。「食事」は古来、元気で長生きするために大切にしなければならないこと、と考えられてきたということです。

食事ネタをもう一つ。私の気に入っている言葉の中に「からだは食べたものでできている」というのがあります。至極当たり前のことを言っているだけに聞こえますが、私はこの「からだ」というのは、肉であり、骨であり、脳であり、心でもある、と考えています。偏った食事は、偏った肉体、偏った思考、偏った感情を作り出す恐れがある、と言っているのだと思っています。言わずもがな、元気で長生きするためには、「偏ったからだ」でないほうがいいはずですが。

科学の発展によって、様々な食品から様々な有用成分が発見、抽出されてきています。自然のものには本当にいろいろな成分が含まれているようです。様々な食品を偏らずに食べることは、未発見のものも含めて、様々な成分を肉体に投入できている、と考えています。「偏らないからだ作り」はまずは自然のものを偏らず食べた上で、不足分はサプリメント等をうまく使って補給していくのが理想なのではないかと思っています。

加えて、「おいしい」はとても大切、と思っています。「おいしい」と感じた瞬間は、どういう状況であれ、間違いなく幸福感に浸ることができます。贅沢なものやグルメなものでもなく、たった1杯の水でも「その人にとっておいしい」と感じる時は、心が優しくなる、幸せな気持ちになるとと思っています。

自分にだけでなく他の人に対しても、体や心の状況をしっかりと思いやり、温かい冷たい、甘い辛い、硬い柔らかい、多い少ない、などをちゃんとチョイスすれば「おいしい」と感じ、心豊かな行動の原動力になる、と思っています。

最後に、「じゅげむ」は「寿限無」と書いて、「量り知れない寿命」のことです。これをお読みの皆さまが「寿限無」でありますように。

（ゆう）

編集後記

毎日暑い日が続いていますが、元気にお過ごしでしょうか？

今年の四国は統計開始以来最も早い梅雨入りで驚きましたが、心配したほど雨は続かなかったので例年通りという感じでしょうか（笑）

もうそろそろ梅雨明けの声も聞こえてきそうですがいよいよ夏本番、オリンピックの開幕ですね。

今回のオリンピックはいろいろとありましたが、コロナに負けずがんばってきた選手の方々には精一杯力を発揮してほしいですね。

私もテレビの前で応援しています。がんばれニッポン！

（A. S）